

高梁市歴史美術館 特別展

没後
50年

清水比庵

—その作風の原点—



正月雀

令和7年
会期 **10/4[土] - 12/8[月]**

会場 **高梁市文化交流館2階
高梁市歴史美術館** 岡山県高梁市原田北町1203-1
TEL.0866-21-0180

入館料 [一般]500円 [65歳以上・高校・大学生]300円
[中学生以下]無料

※障がい者手帳を持参の方と付添の方お1人まで無料

開館時間 9:00~17:00 (但し、入館は16:30まで) 休館日 火曜日

▶ **ギャラリートーク**
日時 10/4[土] 10:00~10:30・10/29[水] 14:00~14:30
会場 展示室 ※要入館券

▶ **シンポジウム「清水比庵の魅力を語る」**
日時 11/29[土] 10:00~12:00
会場 高梁市文化交流館1階 オリエンテーションセンター
登壇者 子川さつき氏(きびミュージアム)、友森陽香氏(吉備路文学館)、
金尾ちはる氏(笠岡市立竹喬美術館)

主催/高梁市歴史美術館

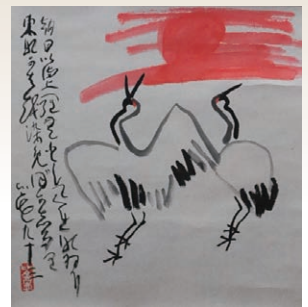
後援/岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局
読売新聞岡山支局、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち
OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、RNC西日本放送、吉備ケーブルテレビ

特別展
没後50年 清水比庵

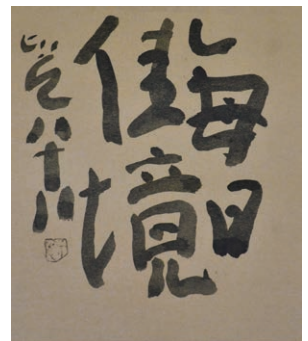
—その作風の原点—



もの足らぬ



夜明

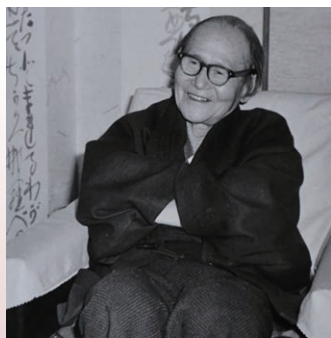


每日佳境

高梁市出身で高梁市名誉市民の清水比庵（しみず ひ あん）（1883-1975）は、歌・書・画が三位一体となったおおらかな作風で多くの人に愛された歌人です。旧制高梁中学校（現在の岡山県立高梁高等学校）時代から短歌に親しみ、京都帝国大学（現在の京都大学）を卒業後、司法官や実業界を経て1930年には日光町長に就任します。町長を退職すると制作に没頭し、川合玉堂や小林和作、桑田笹舟といった芸術家との交流を深めます。1966年の宮中歌会始では召人に選ばれ、「ほのぼのとむらさきにほふあさばらけうぐひすのこゑやまよりきこゆ」と詠んだ歌は高い評価を受けます。

しかし彼の生涯は、大学在学中に病を患い九死に一生を得たり、妻鶴代が急死するなど、必ずしも順風満帆ではなく、このことが作風にも影響を与えたと考えられます。

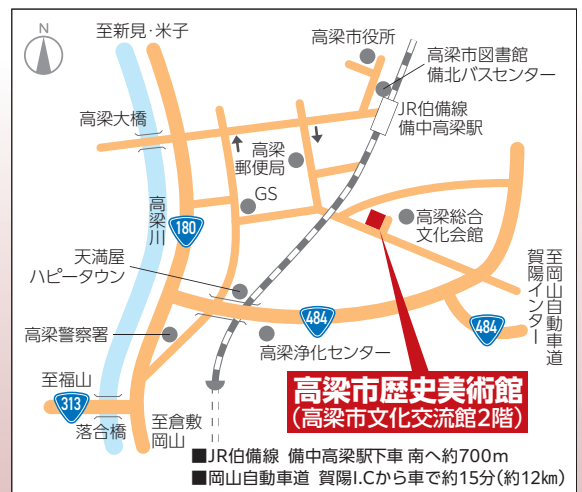
本展は、2025年が比庵の没後50年となることを記念して開催するもので、比庵の作品に加え日記や書状からその生涯を見つめ、独特の作風が生まれた背景を探ります。



清水比庵肖像



秋風は



高梁市歷史美術館 (高梁市文化交流館2階)

〒716-0043 岡山県高梁市原田北町1203-1 TEL(0866)21-0180